

令和4年6月15日（水）

## 「何を学び、これからにどうつなげるか？」

今週は中体連が行われ、3年生にとって、これからのすべての行事に「最後」の冠がついてきます。また、この1年、待ちに待った修学旅行が来週に迫ってきました。3年生の皆さんが小6からの3年間は、コロナウイルス感染症の対応で、世の中が大きく動き、従来、当たり前に行われたきたことのほとんどに規制がかかりました。2030年問題をはじめ、先行きが不透明な世の中をどのように生き抜くかについては、私たちにとっても、これから成人を迎える皆さんにとっても大きな課題でした。そこに、このコロナウイルス感染症の課題が重なり、世の中は混沌（こんとん）としました。これからの世の中をどう生き抜いていくのか・・・。

この修学旅行がもつ意味やみんなで行う大きな行事から「何を学び、これからにどうつなげるか？」を真剣に考えてほしいと思います。コロナウイルス感染症の対応を機に、いろいろな活動の見直しが図られ、場合によっては、カットされたものも多くある中で、リスクはありながらも修学旅行に行ってもらう意味を考えてみましょう。

次の4つは、今年度の修学旅行の大きな目的です。

- 1 各地の自然や文化に触れ、豊かな経験を通して、今後の発展学習の基礎とする。
- 2 集団生活の基本・安全・公衆道徳等の望ましい経験により調和のとれた人間形成を目指す。
- 3 集団生活を通して生涯の楽しい思い出をつくる。
- 4 長崎の訪問により、原爆の悲劇、戦争の悲惨さ、平和の尊さを実感する。

修学旅行の成功は、参加した全員が無事に志布志中まで帰ってくことに尽きます。

そして、大きな目的の4つを意識した学びをとおして、一回りも二回りも成長して行くことを期待しています。

1, 2年生も行事等については目的を考え、「何を学び、これからにどうつなげるか？」を意識していくことで、これからの世の中を生き抜く基盤が培われると考えています。